

本木川自然公園（ほたるの里） 概要

○開園年度 平成10年度

○面積 5.0ヘクタール

○施設内容

- ・ほたる館・月見広場・カッパの小径・くつろぎの丘・じゃぶじゃぶ池・太陽の丘
- ・桜の森・梅の森・やまびこの丘・公衆トイレ

○交通アクセス

- ・九州自動車道古賀インターから約10キロ
- ・国道3号上西郷インターから約5キロ
- ・福岡駅からふくつミニバス「本木中」で降車後、徒歩で18分



本木川自然公園（ほたるの里） 周辺施設



本木川自然公園（ほたるの里） 特徴



くつろぎの丘

じゃぶじゃぶ池
※供用停止中

梅の森



月見広場



太陽の丘

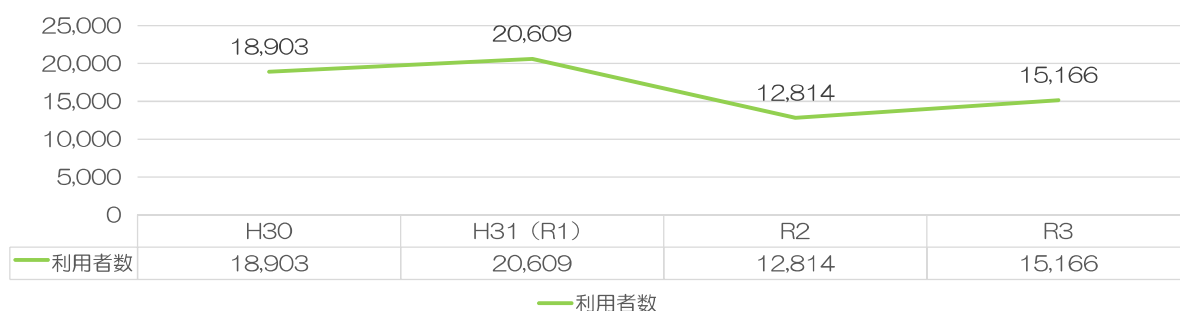


桜の森

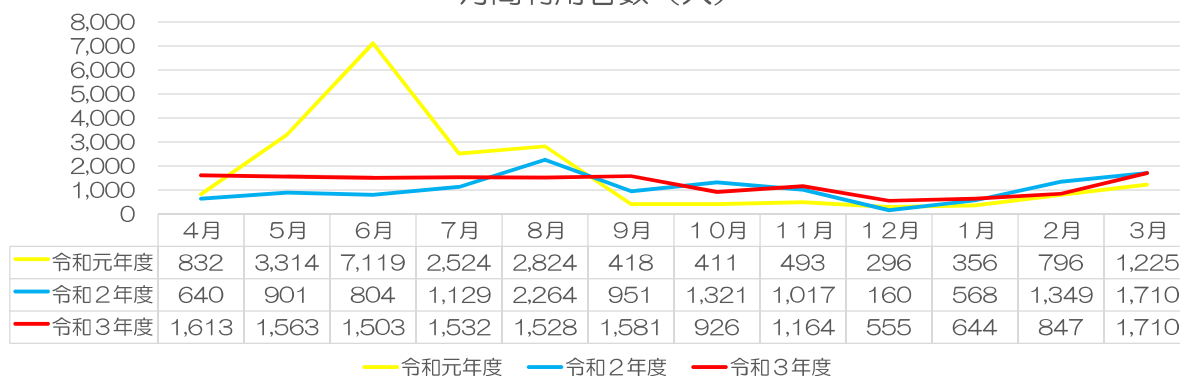
2月下旬～3月…梅
 3月下旬～4月上旬…桜
 5月下旬～6月初旬…ほたる乱舞
 7月中旬～9月初旬…じゃぶじゃぶ池開放（※供用停止中）
 ※上記以外の時期にも、ウォーキングや森林浴等で利用

本木川自然公園（ほたるの里） 施設利用者

年間利用者数（人）



月間利用者数（人）



本木川自然公園 サウンディング状況

第3次福津市行財政改革大綱

＜改革内容＞

民間活力、資金を活用→年間を通じ利用される施設としての活用を検討

＜目標・効果＞

①年間を通じた利用が図られること

②維持管理費の公費負担の軽減を図ること

本公園が持つ多彩な魅力を活かし、官民連携により優れたサービスを提供したい

令和4年度サウンディング
市場性や課題、事業アイデア、諸条件

- ・維持管理費の負担按分が未定→不安
- ・市の意向を具体的に示す必要あり
- ・市と事業者の負担按分は具体的に

令和5年度サウンディング
ワーケーションの場としての利活用
(市の年間費用負担：800万円)

- ・ワーケーションやキャンプの需要はピークアウト
- ・資金的にHBM整備の事業者負担は×
- ・年間5,000万～1億円規模が参画条件
- ・市としての目指す姿を明確に

※今後のコンセプト（案）※

公費負担の減少を図りつつ、
「地域・市民・利用者から愛される公園」、「リピーターを大切にする公園」
を目指す